

## 安全データシート（SDS）

### 1 化学品及び会社情報

#### 化学品の名称

製品名称：アルカマック（合成ヒドロタルサイト）（銘柄：SH）

#### 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：協和化学工業株式会社

住所：〒761-0113 香川県高松市屋島西町 305 番地

担当部署：屋島品質保証課

電話番号：087-844-2154

FAX 番号：087-844-2170

緊急連絡先電話番号：087-844-2154

### 2 危険有害性の要約

#### 化学品の GHS 分類

##### 物理化学的危険性

爆発物：分類できない  
可燃性ガス：区分に該当しない  
エアゾール：区分に該当しない  
酸化性ガス：区分に該当しない  
高压ガス：区分に該当しない  
引火性液体：区分に該当しない  
可燃性固体：区分に該当しない  
自己反応性化学品：分類できない  
自然発火性液体：区分に該当しない  
自然発火性固体：分類できない  
自己発熱性化学品：分類できない  
水反応可燃性化学品：分類できない  
酸化性液体：区分に該当しない  
酸化性固体：区分に該当しない  
有機過酸化物：分類できない  
金属腐食性化学品：分類できない  
鈍性化爆発物：区分に該当しない

##### 健康に対する有害性

急性毒性（経口）：分類できない  
急性毒性（経皮）：分類できない  
急性毒性（吸入）：分類できない  
皮膚腐食性／刺激性：分類できない  
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：分類できない  
呼吸器感作性または皮膚感作性：分類できない  
生殖細胞変異原性：分類できない  
発がん性：分類できない  
生殖毒性：分類できない  
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：分類できない  
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：分類できない  
誤えん有害性：分類できない

##### 環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性）：分類できない  
水生環境有害性 長期（慢性）：分類できない  
オゾン層への有害性：分類できない

## GHS ラベル要素

絵表示 : なし  
 注意喚起語 : なし

## 3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

## 組成および成分情報

	化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号 (化審法・安衛法)	含有量 (%)
成分 1	マグネシウム・アルミニウム・ヒドロ オキシド・カーボネート・ヒドレ ート	11097-59-9	1-17+1-155+ 1-386 ※1	100

注記：これらの値は、製品規格値ではありません

※1 化審法官報公示整理番号 1-17, 1-155, 1-386 のヒドロタルサイト構造を持つ固溶体

## 危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当しない

## 4 応急措置

吸入した場合	: 必要に応じて空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚（又は髪）に付着した場合	: 皮膚に付着した場合：多量の/適切な薬剤で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合	: むやみに目を擦らずに、速やかに清水で洗い流す。 コンタクトレンズを着用の場合、容易に外せる場合は外し、洗浄を続ける。 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐ。 大量の場合は水を飲ませる。ただし、無理に吐かせないこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること
最も重要な徴候及び症状	
吸入	: 粘膜を刺激して咳が出ることがある。
皮膚	: 長時間付着したままの状態では肌荒れすることがある。
眼	: 粘膜を刺激することがある。
経口摂取	: 少量は影響ないが、大量の場合、悪心嘔吐することがある。
応急措置をする者の保護	: 救助者は必要に応じて適切な保護具を着用すること。

## 5 火災時の措置

適切な消火剤	: 本製品は可燃性固体でない。周辺の状況に応じた消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	: データなし
特有の危険有害性	: データなし
消火を行う者への勧告	
特有の消火方法	: 関係者以外は安全な場所に退去させる。 周辺状況に応じた対応を行う。
消火を行う者の特別な保護具及び予防措置	: 消火作業に適切な保護具を着用すること。

---

## 6 漏出時の措置

---

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置** : 関係者以外は近づけない。  
漏出時の処理を行う際には、眼や皮膚との過度の接触及び吸入を避けるため、適切な保護具を着用することが望ましい。  
回収を行う場合は風上から作業すること。
- 環境に関する注意事項** : 河川、下水道、土壤等に排出、拡散されないように注意すること。  
粉じんが飛散しないようにすること。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材** : 掃き集める等で回収すること。  
回収後、関連法規に従い適切に処理すること。

---

## 7 取扱い及び保管上の注意

---

### 取扱い

- 技術的対策** : (取扱者のばく露防止) 粉じんの吸入を避けること。  
(注意事項) 皮膚に触れないようにする。  
眼に入らないようにする。
- 安全取扱い注意事項** : 必要に応じて換気を行うことが望ましい。  
眼、皮膚との過度の接触および吸入を避けること。  
「8. ばく露防止及び保護措置」を参照し、適切な保護具を着用することが望ましい。
- 接触回避  
衛生対策** : 強酸との接触を避けること。  
: 眼、皮膚、衣類につけないこと。  
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
取扱う時に飲食または喫煙をしないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
保護具は定期的に点検すること。

### 保管

- 技術的対策** : 保管場所には取扱いに必要な採光、照明および換気の設備を必要に応じて設ける。
- 安全な保管条件** : 屋内、床上に保管し、高温多湿を避けること。  
吸湿性があるので開封状態で放置しないこと。  
吸着性があるので揮発性または臭気のするものに近づけないこと。
- 混触危険物質  
安全な容器包装材料** : 「10. 安定性及び反応性」を参照。  
: データなし

---

## 8 ばく露防止及び保護措置

---

- 管理濃度** : データなし
- 許容濃度**  
日本産業衛生学会(2021年度) : 第3種粉塵  
吸入性粉塵 2 mg/m<sup>3</sup>  
総粉塵 8 mg/m<sup>3</sup>
- 設備対策** : 必要に応じて取扱い場所の近くに手洗い設備等を設置する。  
必要に応じて換気装置を設置する。
- 保護具**
- 呼吸用保護具 : 呼吸用保護具(防じんマスク)を着用すること。
- 手の保護具 : 保護手袋を着用すること。
- 眼、顔面の保護具 : 保護眼鏡、ゴーグル型保護眼鏡を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護服(長袖作業衣)を着用すること。

## 9 物理的及び化学的性質

物理状態、色	: 白色の粉末
臭い	: データなし
臭いの閾値	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性（ガス、液体及び個体）	: 燃焼しない
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 適用外
引火点	: 燃焼しない
自然発火点	: 適用外
分解温度	: データなし
pH	: 適用外
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に殆ど溶けない、鉱酸に溶解する。
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 2.2
相対ガス密度（空気=1）	: データなし
粒子特性	: データなし

## 10 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の保管条件/取扱い条件では安定である。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 高温多湿を避けること。
混触危険物質	: 強酸類
危険有害な分解生成物	: データなし

## 11 有害性情報

急性毒性（経口、腹腔内）	: 成分 1
	LD <sub>50</sub> 10,000 mg/kg 以上 経口及び皮下交付法 マウス
	8,200 mg/kg 以上 腹腔内交付法 マウス
	東医大誌 25,695 (1967)
	成分 1
	微生物を用いる変異原性試験: 陰性
	(株)相互生物医学研究所
急性毒性（経皮）	: データなし
急性毒性（吸入：気体）	: GHSの定義における固体であるため分類対象外。
急性毒性（吸入：蒸気）	: データなし
急性毒性（吸入：粉じんおよびミスト）	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性/皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし

発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: データなし
誤えん有害性	: データなし

---

## 12 環境影響情報

---

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

---

## 13 廃棄上の注意

---

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
廃棄物の処理方法	: 廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 承認された廃棄物集積場で処理する。 下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。
汚染容器及び包装	: 容器は関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

---

## 14 輸送上の注意

---

国際規制	
陸上輸送	: ADR/RIDの規定に従う。
海上輸送	: IMOの規定に従う。
航空輸送	: ICAO/IATAの規定に従う。
国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当
輸送品名	: 非該当
容器等級	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
国内規制がある場合の規制情報	
陸上規制情報	: 道路交通法に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法に従う。
航空規制情報	: 航空法に従う。
輸送時の特定の安全対策	: 輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。 落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に 行う。 その他関係法規の基準に従い輸送を行う。
緊急対応時指針番号	: 非該当

---

## 15 適用法令

---

化審法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進(PRTR)法	: 非該当
消防法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 非該当
航空法	: 非該当
船舶安全法	: 非該当
輸出貿易管理令	: 輸出貿易管理令別表第一の16項
水質汚濁防止法	: 指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3) 44 アルミニウム及びその化合物
医薬品医療機器等法	: 製造専用医薬品

---

## 16 その他の情報

---

各国登録情報	
TSCA 登録	: 有り
EC 番号	: 234-319-3
DSL 登録	: 有り

### 参考文献：

- ・ Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, (7th ed., 2017)
- ・ JIS Z 7252 : 2019
- ・ JIS Z 7253 : 2019
- ・ 2021 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）

### 責任の限定について

本 SDS は JIS Z 7253:2019 と JIS Z 7252:2019 に従い作成したものです。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。